



教師力・授業力をひらき、倍加する
新時代の**教職大学院**

2027

国立大学法人
山梨大学大学院
教育学研究科 教育実践創成専攻
(教職大学院)



研究科長からの挨拶



教育学研究科長
長谷川 千秋

山梨大学教職大学院は、現職教員院生と学部卒院生（ストレートマスター）がともに学び研鑽を重ねながら、教師としての力量をさらに高めていく場です。院生は、「学校教育での現代的課題」「特別支援教育」「教科領域の実践」「教科横断・校種縦断を目指した教育のあり方」など自身の研究テーマを設定し、実習と課題研究を通して実践的研究を行います。理論と実践に裏打ちされた研究があるからこそ、自らを大きく成長させ、現場で輝くリーダーとして巣立っていただけるのです。ぜひ、教職大学院の門戸を叩いてみてください。

専攻長からの挨拶



教育実践創成専攻長
早川 健

創設から18年目を迎えた山梨大学教職大学院は、これまで350名を超える修了生を輩出してきました。現職教員院生の多くは修了後、自治体や学校の重要な役職に就き、山梨の教育をリードする立場となっています。学部卒院生は修了後、大学院で身に付けた理論と実践力をもとに自信をもって教育現場に旅立ち、即戦力として、ミドルリーダーとして活躍しています。修了生の強いネットワークが大きな財産となり、今後もさらに広がっていくことを楽しみにしています。

年齢・校種・研究内容が異なる院生が集い学び合うからこそ、新たな発想が生まれ、創造的な学修を展開することができます。未来の教育を担う仲間と専門的な知見を有する研究者が、あなたの入学を待っています。

教育実践創成専攻（教職大学院の課程）

理念・目標

教育に関する高度な実践的専門性を有し、地域の学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善の構想力・実践力、教育実践をリードする力の育成や、特別支援教育の先導的な役割を担う実践力、小学校、中・高等学校の各教科において質の高い教育内容研究・教材研究をもとにした授業の構想力・実践力、さらに教科横断・校種縦断に基づく高度な授業開発力の育成を目指します。

大学院教育学研究科教育実践創成専攻（教職大学院の課程）3ポリシーについてこちらからご確認ください。▶

<https://www.yamanashi.ac.jp/about/47564>



山梨大学教職大学院の特色

～山梨大学教職大学院のここがすごい!!～

ここが
すごい

1

【TT（ティーム・ティーチング）】

本教職大学院の授業は、主に少人数での演習で、基本的に研究者教員と教育委員会行政職、学校長等を経験した実務家教員のTT（ティーム・ティーチング）です。

学校の教育活動について理論と実践を同時に学ぶことができます。

実務家教員の先生方により教育学部出身者でない院生向けに【授業実践ゼミナール】（全8回）も開講しています。

教育・研究や教採対策について相談できる充実した環境が整っています。

客員教授

桐原 ひかる

受験者に向けて

「授業実践ゼミナール」では、主に教育学部以外から進学してきたストレートマスターの1年生が、授業づくりや生徒指導、学級経営などについて、相互の課題や問題意識を共有し、講義や話し合いを通して課題解決を図ることを目的としています。「一人の悩みはみんなの悩み」としてとらえ、現場経験の豊富な客員教授の先生方と一緒に考え、明日に使える実践的な学びを得ることを目指していきましょう。



TTの授業風景

ここが
すごい

2

【200時間／1年間の実習】

本教職大学院では、毎年、山梨県内の【連携協力校】となっている小・中・高・特別支援学校にて200時間の実習を行います。ストレートマスターは、教育現場へ出る前に教育現場の雰囲気を体感でき、実践的に経験を積むことができます。

また、現職教員院生は、1年目は所属校以外の学校で実習をすることになり、教育現場を違った角度から見つめ直すことのできる素晴らしい機会となります。

実習先には指導教員と一緒に赴き、実習後には指導教員と話し合い、今後の実習に向けた検討をします。

教科領域実践開発コース
2年次生
ストレートマスター

瀧口 藍丸

実習について

教職大学院では、継続的な実習を通して、授業づくりや生徒理解について学んできました。特に理科の授業実践では、教材研究から授業計画、実践、振り返りまでを経験し、生徒の反応や実態を踏まえながら授業を改善していくことの大切さを実感しました。また、日々の授業観察を通して、発問や板書、生徒との関わり方など、現職教員の実践から多くのことを学ぶことができました。理論と実践を往還しながら学ぶことが、教職大学院の大きな魅力だと感じています。



実習の様子

教育の場で活躍する教職大学院

山梨大学大学院 教育学研究科教育実践創成専攻（教職大学院）

定員：38名（現職教員：14名・一般：24名）

教育実践開発コース

地域や学校の教育課題に対応する力、学校改善をマネジメントする力などの総合的な実践力を有する教員を養成する。また、必修共通科目である「インクルーシブ教育」や特別支援教育分野にて開講される科目の学びにより、発達障害を抱えた子どもへの実践的指導力を有する教員を養成する。

学校マネジメント分野

学校経営、学校安全と危機管理、学校改善などに関する力を有し、学校づくりをリードできる教員を育成する。

教師力育成分野

学校が抱える様々な問題を解決する力を有し、カリキュラム開発、教育臨床、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を有する教員を育成する。

特別支援教育分野

障害のある子どもへの合理的配慮の提供のための建設的対話や個々の教育的ニーズに応じた適切な指導を実践する力を有し、同僚と協働するとともに医療や福祉等の関係機関との連携・協働を推進しながら、特別支援教育の先導的な役割を担うことのできる教員を育成する。

教科領域実践開発コース

小学校、中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

初等教科教育分野

小学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

中等教科教育分野

中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

共通科目【必要単位数：18単位】
（学校マネジメント分野は20単位）

学校マネジメント分野

『学校安全と危機管理』
『学校組織経営論』
『教育法規とコンプライアンス』
『学校改善論』

選択科目【必要単位数：12単位】

『山梨の学校改革』
『小学校における接続期カリ』
『道徳教育の理論と実践』

『授業研究マネジメント論』
『エビデンスに基づく教育支援』
『教育相談・生徒指導論』

『知的障害児の理解と教育』
『行動障害の理解と支援』

課題研究・実習※

『課題研究Ⅰ』
『課題研究Ⅱ』
『実習Ⅰ（教育臨床実習）』
『実習Ⅱ（学校・行政マネジメント実習）』

教育実践創成専攻 授業科目体系

教育実践開発コース

教師力育成分野

特別支援教育分野

教科領域実践開発コース

初等教科教育分野

中等教科教育分野

教育課程の編成・実施に関する領域

『教育課程の内容と編成』

『初等教科横断型・総合型プロジェクト実践論』

『中等教科横断型・総合型プロジェクト実践論』

教科等の実践的な指導方法に関する領域

『情報教育・ICT活用の理論と実践』

『授業研究マネジメント論』

『授業研究マネジメント論』

生徒指導・教育相談に関する領域

『教育相談・生徒指導論』

『教育相談・生徒指導論』

『インクルーシブ教育』

学級・学校経営に関する領域

『学校・学級文化の創造と学級経営』

学校教育と教員の在り方に関する領域

『現代学校・教師論』

教育実践研究に関する領域（独自領域）

『教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論』

特別支援に関する領域

『知的障害児の理解と教育』
『肢体不自由児の理解と教育』
『病弱児の理解と教育』
『行動障害の理解と支援』

『発達障害児の心理教育アセスメントと支援』

『教職実践高度化演習』

キュラムの実践と課題

『学校安全と危機管理』
『子どもエンパワーメント論』

『特別支援教育の現代的課題Ⅰ』
『特別支援教育の現代的課題Ⅱ』

『国語科の本質と目標・内容構成』 『英語科の本質と目標・内容構成』
『社会科の本質と目標・内容構成』 『数学科の本質と目標・内容構成』
『理科の本質と目標・内容構成』
『家庭科の本質と目標・内容構成』 『音楽科の本質と目標・内容構成』
『図画工作科・美術科の本質と目標・内容構成』
『体育科・保健体育科の本質と目標・内容構成』

『初等国語科の教材研究と授業構想』
『初等英語科の教材研究と授業構想』
『初等社会科の教材研究と授業構想』
『初等数学科の教材研究と授業構想』
『初等理科の教材研究と授業構想』
『初等家庭科の教材研究と授業構想』
『初等音楽科の教材研究と授業構想』
『初等図画工作科の教材研究と授業構想』
『初等体育科の教材研究と授業構想』

『技術科の本質と目標・内容構成』
『中等国語科の教材研究と授業構想』
『中等英語科の教材研究と授業構想』
『中等社会科の教材研究と授業構想』
『中等数学科の教材研究と授業構想』
『中等理科の教材研究と授業構想』
『中等技術科の教材研究と授業構想』
『中等家庭科の教材研究と授業構想』
『中等音楽科の教材研究と授業構想』
『中等美術科の教材研究と授業構想』
『中等保健体育科の教材研究と授業構想』

『課題研究Ⅰ』
『課題研究Ⅱ』
『課題研究Ⅲ』

『特別支援教育課題研究Ⅰ』
『特別支援教育課題研究Ⅱ』
『特別支援教育課題研究Ⅲ』

『課題研究Ⅰ』

『課題研究Ⅱ』

『課題研究Ⅲ』

『小学校実習Ⅰ（課題発見実習）』又は
『中・高等学校実習Ⅰ（課題発見実習）』
『小学校実習Ⅱ（課題達成実習）』又は
『中・高等学校実習Ⅱ（課題達成実習）』

『特別支援学校実習Ⅰ（課題発見実習）』
『特別支援学校実習Ⅱ（課題達成実習）』

『小学校実習Ⅰ（課題発見実習）』
『小学校実習Ⅱ（課題達成実習）』

『中・高等学校実習Ⅰ（課題発見実習）』
『中・高等学校実習Ⅱ（課題達成実習）』

【必要単位数】 ◎課題研究（必修）：6単位（学校マネジメント分野は4単位） ◎実習（必修）：10単位（学校マネジメント分野は5単位）

どんなカリキュラムで学んでいるの【履修モデル】

教育実践開発コース 教師力育成分野 履修モデル（ストレートマスター）

■ 1 年 前 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30	M1 (課題発見実習) 小学校実習Ⅰ			教育課程の内容と編成
II	10:40-12:10				現代学校・教師論
III	13:10-14:40		教職実践高度化演習 (ストマス対象)		M1 課題研究Ⅰ 【隔週】
IV	14:50-16:20		授業実践ゼミナール (ストマス対象)		
V	16:30-18:00		インクルーシブ教育		

■ 1 年 後 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30	M1 (課題発見実習) 小学校実習Ⅰ	子どもエンパワーメント論		
II	10:40-12:10				
III	13:10-14:40				M1 課題研究Ⅱ 【隔週】
IV	14:50-16:20				
V	16:30-18:00		教育相談・生徒指導		

集中講義 令和8年7月31日(V)、8月3日～5日(I～IV)、8月28日(I・II) 山梨の学校改革

■ 2 年 前 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30			M2 (課題達成実習) 小学校実習Ⅱ	
II	10:40-12:10	授業研究 マネジメント論	行動障害の理解と支援※注		
III	13:10-14:40	学校安全と危機管理			M2 課題研究Ⅲ 【通期・毎月】
IV	14:50-16:20				
V	16:30-18:00				

■ 2 年 後 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30			M2 (課題達成実習) 小学校実習Ⅱ	
II	10:40-12:10				
III	13:10-14:40	発達障害児の心理教育 アセスメントと支援※注			M2 課題研究Ⅲ 【通期・毎月】
IV	14:50-16:20	知的障害児の理解と教育			
V	16:30-18:00				

特別支援教育分野 履修モデル（ストレートマスター）

■ 1 年 前 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30	M1 特別支援学校実習Ⅰ (課題発見実習)	病弱児の理解と教育		
II	10:40-12:10		行動障害の理解と支援※注		
III	13:10-14:40		教職実践高度化演習 (ストマス対象)		M1 特別支援教育 課題研究Ⅰ 【隔週】
IV	14:50-16:20		授業実践ゼミナール (ストマス対象)		
V	16:30-18:00		インクルーシブ教育		

■ 1 年 後 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30	M1 特別支援学校実習Ⅰ (課題発見実習)			肢体不自由児の理解と教育
II	10:40-12:10				
III	13:10-14:40		発達障害児の心理教育 アセスメントと支援※注		M1 特別支援教育 課題研究Ⅱ 【隔週】
IV	14:50-16:20		知的障害児の理解と教育		
V	16:30-18:00				

集中講義 特別支援教育の現代的課題Ⅰ／Ⅱ

■ 2 年 前 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30			M2 特別支援学校実習Ⅱ (課題達成実習)	教育課程の内容と編成
II	10:40-12:10				現代学校・教師論
III	13:10-14:40				M2 特別支援教育 課題研究Ⅲ 【通期・毎月】
IV	14:50-16:20	学校・学級文化の創造と学級経営			
V	16:30-18:00	インクルーシブ教育			

■ 2 年 後 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30		子どもエンパワーメント論	M2 特別支援学校実習Ⅱ (課題達成実習)	
II	10:40-12:10				
III	13:10-14:40				M2 特別支援教育 課題研究Ⅲ 【通期・毎月】
IV	14:50-16:20				
V	16:30-18:00				

教科領域実践開発コース 中等教科教育分野 履修モデル（ストレートマスター）

■ 1 年 前 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30	M1 (課題発見実習) 中・高等学校実習Ⅰ			教育課程の内容と編成
II	10:40-12:10				
III	13:10-14:40		教職実践高度化演習 (ストマス対象)		M1 課題研究Ⅰ 【隔週】
IV	14:50-16:20		授業実践ゼミナール (ストマス対象)		
V	16:30-18:00		インクルーシブ教育		

■ 1 年 後 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30	M1 (課題発見実習) 中・高等学校実習Ⅰ	中等国語科の教材研究と授業構想		
II	10:40-12:10				
III	13:10-14:40				M1 課題研究Ⅱ 【隔週】
IV	14:50-16:20		初等国語科の教材研究と授業構想		
V	16:30-18:00				

■ 2 年 前 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30			M2 (課題達成実習) 中・高等学校実習Ⅱ	
II	10:40-12:10	授業研究 マネジメント論	社会科の本質と目標・内容構成		現代学校・教師論
III	13:10-14:40	英語科の本質と目標・内容構成			M2 課題研究Ⅲ 【通期・毎月】
IV	14:50-16:20				
V	16:30-18:00				

■ 2 年 後 期

	月	火	水	木	金
I	9:00-10:30			M2 (課題達成実習) 中・高等学校実習Ⅱ	中等教科横断型・総合型プロジェクト実践論
II	10:40-12:10				
III	13:10-14:40				M2 課題研究Ⅲ 【通期・毎月】
IV	14:50-16:20				
V	16:30-18:00	教育相談・生徒指導			

※令和8年度現在の履修モデルです。

※注「行動障害の理解と支援」及び「発達障害児の心理教育アセスメント支援」については、令和9年度より4～5ページのカリキュラムに変更となります。



Pick Up

1



集中講義「山梨の学校改革」

山梨大学教職大学院では、毎年夏に5日間の集中講義「山梨の学校改革」を開講しています。この講義では、山梨県教育委員会をはじめとする教育関係機関からゲスト講師をお招きし、山梨の学校を取り巻くさまざまな現状や課題について講義を行います。また、講義後には大学院教員の進行のもと、受講者同士で意見を交わしながら、各回のテーマに基づいた議論を深めていきます。講義の後半には、受講者自身がこれまでの学びをもとにプレゼンテーションを行い、総括的な討論を通して、山梨の新しい学校改革の方向性について考察します。講師から得た幅広い知見をもとに学校教育の未来を多面的に考えることができる、貴重な機会となっています。



【ゲスト講師の講義の様子】



【グループワークの様子】

Pick Up

2



教育実践フォーラム（10月）

教職大学院では、2月の教育実践フォーラム（院生の研究成果発表）に加え、教育に関する様々なテーマについて、フォーラムと題して年に1回の学習会を開催しています。

県・学内外から講師及びパネリストを招聘し、喫緊の教育課題について講演をいただき、講師、パネリスト、在学院生、学外参加者の会場全体で学び、考え、意見交換することのできる貴重な機会となっています。ここ近年では、ABD（アクティブ・ブック・ダイアログ）を用いた「2050年の日本の学校教育」（SDGs）（第29回）や「『学校の働き方』を問い直すー教員の労働環境から考える改革のこれからー」（第31回）などをテーマとして開催され、学びを深めました。



【第29回教育実践フォーラム
ABD（アクティブ・ブック・ダイアログ）の様子】



【第31回教育実践フォーラムの様子】

11月

研究授業
（時期は一例です）

12月

実習終了
（終了時期は一例です）

1月

2月

教育実践フォーラム
（院生の研究成果発表）

3月

学位記授与式

教育実践フォーラム（院生の研究成果発表）



7ページで紹介されている「課題研究」の授業を通して1年間かけて研究した成果を各自が発表します。

学位記授与式

オルガンの演奏が流れる中1人ずつ手渡しで学位記を受け取ります。大学院で学び経験して得たたくさんのことと専修免許状を手に新たなステージへと向かっていきます。



教職大学院 Q&A

Q1

教職大学院では、どんな人が学んでいるの？

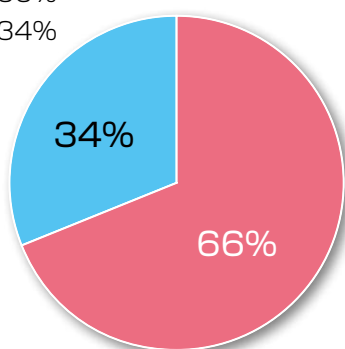
現に教諭として勤務し学校現場で実践経験を積んできている現職教員院生と学部卒院生（ストレートマスター）と一緒に学んでいます。

ストレートマスターには、本学出身者、県内外の他大学出身者がいます。また、ストレートマスターは現職教員院生に相談に乗ってもらい色々なアドバイスをもらっています。反対に現職教員院生からはストレートマスターから刺激や気づきをもらうことが多いなどの声が聞こえてきます。ぜひ皆さん一緒に切磋琢磨しながら学んでみませんか！！

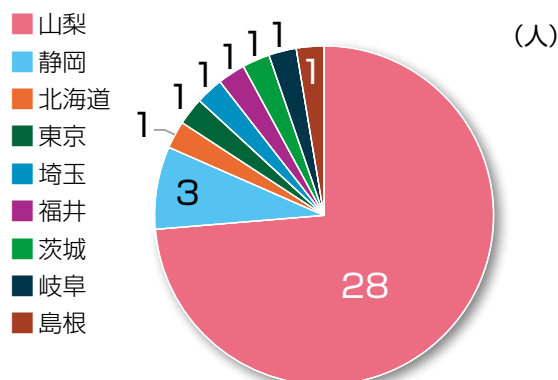
本教職大学院には、山梨大学と他大学の卒業生の両方が入学してきます。

【令和7・8年度ストレートマスターの出身大学】

- 山梨大学出身……66%
- 他大学出身者……34%



【令和7・8年度ストレートマスターの出身地の内訳】



【過去数年間のストレートマスターの出身校内訳】

山梨大学、山梨学院大学、都留文科大学、山梨県立大学、早稲田大学、中央大学、筑波大学、信州大学、静岡大学、富山大学、青山学院大学、学習院大学、京都外国語大学、創価大学、日本体育大学、明星大学、拓殖大学、常葉大学、城西大学、静岡産業大学、大阪体育大学、大東文化大学、文教大学、東洋大学、神奈川大学、東京女子体育大学、玉川大学、鹿屋体育大学、秋田県立大学、駿河台大学、実践女子大学、大阪人間科学大学、東京学芸大学、東海大学、京都教育大学など

Q2

教職大学院って何年間？ どんなことをするの？

本教職大学院に2年間在籍し、必要単位を修得することで、「教職修士（専門職）」の学位が取得できます。最大の特徴は、「連携協力校」における実習です。教職に就く前にきめ細やかな指導の下、実践力を向上させたい！と思う方には、素晴らしい機会となるはずです。

令和8年度は、山梨大学教育学部附属4校園を含めると山梨県内の96校が連携協力校となっています。そのうち毎年約30～40校に院生が配置され、年間200時間の実習を実施することとなります。

Q3

山梨大学教職大学院の特徴は？

- ① 1年間200時間の実習により教育現場の雰囲気を感じ、実践的に経験を積むことができます。
- ② 実習では毎回、大学の指導教員と授業等の振り返りを行い、今後に活かします。
- ③ 少人数での演習、基本的に研究者教員と実務家教員（校長職などを経験した教員）のチーム・ティーチングのため、学校の教育活動について理論と実践を同時に学ぶことができます。
- ④ 校種縦断（小・中・高・特）、教科横断的なカリキュラムから教育のあり方を学ぶことができます。

Q4

教職大学院生への経済的支援は？

学業に真摯に取り組む責務を果たす院生は以下の経済的支援を申請できます。

- ①【現職教員院生】学術奨励金制度（山梨県より派遣された現職教員のみ）があり、2年間で入学金相当の負担を軽減できます。さらに2年目後期の授業料も免除になります。
- ②【ストレートマスター】年に2回（前期・後期）学術奨励金の修学支援制度があります。
- ③【ストレートマスター】教職大学院「在籍中に第一種奨学金（授業料後払い制度含む）の貸与を受け、当該年度中に貸与終了する人」には、日本学生支援機構による「奨学金の返還免除制度（教員免除）」があります。「特に優れた業績を挙げたと認められる人で、かつ教職大学院を修了または教職課程認定の大学院を一定の条件のもと修了のうえで教員採用選考試験に合格し、正規教員として採用になる予定の人」が申請できます。
- ④本教職大学院は、厚生労働省専門実践教育訓練講座（令和8年度4月～）に指定されており、雇用保険に加入していることを条件に、附属学校教諭、私立学校教諭、社会人の方については、受講費用の支給を受けることができます。

Q5

現職教員として入学するメリットは？

- ①1年間現場（所属校）を離れて研修することができます。
- ②1年目の実習は、所属校以外の連携協力校で行うため、教育現場を客観的に観察し、考えることができます。
- ③ストレートマスターや大学教員、異校種の現職教員院生、連携協力校の教員などとの協働的な研究活動により、幅広く密度の濃い人間関係が構築され、教員としてのネットワークが広がります。
- ④特例措置を認定された方は、修業年限1年間にて修了要件46単位のうち39単位以上を履修することができます。（2年次においては所属校に勤務しながら、教育実践研究を並行して行い月に1回大学に來学します。）
- ⑤修了後も継続的に相談・指導を受けることができたり、大学教員と共同研究をすることができたりします。

Q6

ストレートマスターとして入学するメリットは？

- ①学部4年次、大学院1年次、大学院2年次と3回教員採用試験を受験することができます。しかも、山梨県などの一部の地域（要各自確認）では学部4年次、大学院1年次に合格した場合、合格者として登録され、大学院を修了するまで採用が猶予されます。
- ②長期履修制度があります。（※教職免許法に定める普通免許状（一種または二種）取得のために利用できます。）
- ③教員採用試験対策のための講座など丁寧な指導があります。

Q7

教職大学院ではどんな免許状を取得できるの？

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭一種免許状を有する方は、本研究科において教育職員免許法及び同施行規則に定める単位を修得することにより、それぞれに対応する【専修免許状】を取得することができます。

- 小学校教諭専修免許状**
- 中学校教諭専修免許状**（国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語）
- 高等学校教諭専修免許状**（国語・書道・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・工芸・保健体育・家庭・英語）
- 特別支援学校教諭専修免許状**（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）

また、学部科目を履修することにより小学校教諭、中学校教諭（一種・二種）、高等学校教諭（一種）の免許状、特別支援学校教諭（一種）を新たに取得することができます。

※個人の履修状況により取得に要する期間は異なってきます。

※この際の実習校は各自で手配していただくこととなります。

- 小学校教諭（一種・二種）免許状**
- 中学校教諭（一種・二種）免許状**（国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語）
- 高等学校教諭（一種）免許状**（国語・書道・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・工業・英語・情報）
- 特別支援学校教諭（一種）免許状**（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）

私たちが教職大学院の 魅力を紹介します

聞かせて!!
在学院生の声



教育実践開発コース 2年次生 現職教員院生
須藤 亮佑

1年目は、大学院での講義や他校種の先生方、ストレートマスターとの協議を通して、多くの新たな視点に触れることができました。これまでの実践を改めて省察し、その価値や課題について深く考える機会となりました。また、理論や近年の教育課題について学ぶ中で、子どもの見方や教育観にも変化が生まれました。さらに、課題研究では学級経営について研究を進めています。文献や論文を読み、院生や先生方と意見交流を重ねることで、研究の深まりを実感しています。教職大学院での学びは、自身の実践や教育観を問い直し、教師として成長し続けるための重要な時間となっています。



教科領域実践開発コース 2年次生 ストレートマスター
平田 美幸（長期履修生）

講義では、学校・学級運営や生徒指導、保護者対応など、教科指導にとどまらず幅広く教育について学ぶことができます。課題研究では、自分の興味・関心のあるテーマを深く追究し、実践的に学びを深めています。また、異なる校種・教科を専攻するストレートマスターや現職院生とのディスカッションを通して、多様な考え方に触れることができ、自身の教育観が大きく広がりました。

さらに、山梨県内の連携校による実習で、多くの現場の先生方と関わりました。大学院での学びや出会いは、これからの教職人生に大きな影響を与えてくれる貴重な経験になっています。地元に戻っても、ここで築いたつながりを大切にしていきたいです。



教科領域実践開発コース 2年次生 ストレートマスター
飯沼 ひろ香

教職大学院の授業は、対話が中心です。現職の先生方とストレートマスターが意見を交わし、大学の先生方からご助言をいただきながら学ぶことで、自身の学びを深めることができます。昨今複雑化する教育課題ですが、そのような大きな壁との向き合い方を仲間とともに考えることができる良い学び場となっています。

また、学部卒のストレートマスターと、現場で豊かな経験を積まれた現職の先生方がともに学んでいるため、お互いに多くの刺激を受けることができます。特にストレートマスターにとっては、リアルな教育現場を思い浮かべながら学べるのが大きな魅力です。

教職大学院は、様々な人とのつながりの中で学べる環境が整っています。私は、このような素敵な縁にあふれた学び舎で学べることに喜びを感じています。

教職大学院で学んだ 修了生の声

修了生は、県内外の小・中・高・特別支援学校などの教育機関で活躍しています。



南アルプス市立白根百田小学校 校長
川野 和昭（第4期生）

自身の視野を広げる最高の環境

昔、南米のベネズエラ・カラカス日本人学校に赴任しました。アミーゴの国で生活して、教員としての視野を広げ、人生の貯蓄や経験値を高められ「人生の大きなターニングポイント」になりました。日本に戻り、小学校で教鞭をとりましたが、もう一度、理論と教員としての実践を融合させたいと思い、教職大学院の門をたたきました。その後、中学校校長に採用された時は、教職大学院での学び、中学・高校への訪問、大学教職員や院生との交流がとても助けになりました。

今、教職生涯を通じて探究心をもちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続ける姿が求められています。教職大学院は、自身の視野を広げ、人生の貯蓄や経験値を一気に高められる最高の環境です。自分自身を変える新たな一歩を踏み出してみてください。



甲府市立東中学校 教諭
古屋 拓海（第11期生）

「先生になりたい」という夢が叶った場所

高校生から志した、先生になりたいという夢。「毎日が喜怒哀楽で飽きることのない生活」「子どもと保護者と一生つながるありがとうの輪」。他者貢献が幸せだと感じる私は、そんな職業の魅力に惚れた。そこから高校卒業後、工学部での教職課程の履修、そこで得た免許で入学した教職大学院。そして修了後、遂に夢が叶った。私は先生になった。今でも志した頃の気持ちは変わっていない。先生は最高だ。

これまでの道のりに、私の中で欠かせないものがある。それはやはり、教職大学院という場所での学び。「先生という職の大変さを知る父母のような先生方」「現職から学べる現場の実態」により「同じ道を志す仲間」。豊富な人材に支えられて、高め合えて今の私がある。私はこの感謝を、これからの未来を担う子どもたちへ還元していく。



山梨県立甲府東高等学校 教諭
樋口 真理子（第11期生）

教職大学院で得ることができた大事なこと

私が教職大学院に入学したのは2020年4月でした。様々な講座の中で先生方や他校種の現職の方々、ストマスの学生との交流から多様な価値観を学んだこと、実習校での取り組みからこれまでの自分を振り返ることが出来たことなどとても得ることが多かったです。不易流行、社会に求められていることは変化し、それでも本当に大事なことは変わらない中、私たちも学び続け、生徒のため、社会のために頑張ろうと思えたきっかけになりました。

入学試験について

出願資格

教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める普通免許状（二種以上）を有する方又は令和9年3月までに取得する見込みの方に限ります。

説明会日程

説明会に参加を希望される場合は、右記QRコードから申し込みをお願いします。なお、当日参加も可能です。

●Zoomによるオンライン説明会 ※どなたでも参加できます。

日時：令和8年7月18日(土) 13:30～15:30 (13:00 接続開始)

●山梨大学甲府西キャンパス説明会

【現職教員対象】

日時：令和8年7月27日(月) 16:30～17:30 (16:00 受付開始)

場所：国立大学法人山梨大学甲府西キャンパス N号館3階 N-32教室

【ストレートマスター対象】

日時：令和8年7月25日(土) 13:30～15:30 (13:00 受付開始)

令和8年8月 3日(月) 10:30～12:00 (10:00 受付開始)

場所：国立大学法人山梨大学甲府西キャンパス N号館2階 N-24教室

※その他説明会は随時開催 こちらから▼



令和9年度
教職大学院入学説明会



入試日程

●1次募集

出願期間：令和8年 8月19日(水)～8月26日(水)

試験日：令和8年 9月26日(土)

合格発表：令和8年10月 2日(金)

●2次募集

出願期間：令和8年11月 9日(月)～11月16日(月)

試験日：令和8年12月 5日(土)

合格発表：令和8年12月18日(金)

●3次募集

状況に応じて実施を検討



【教職大学院授業（演習）の様子】



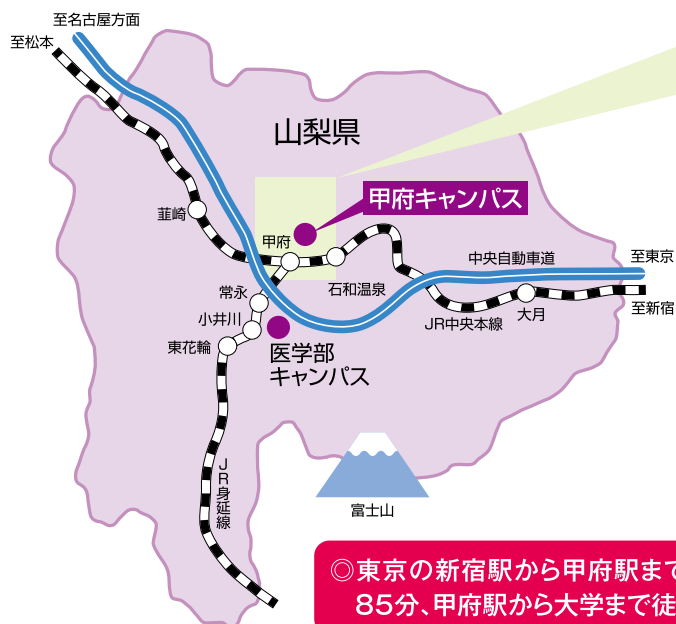
【院生研究室の様子】

最新の情報は、山梨大学教職大学院HPをご覧ください。

<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/tgs/> 「教職大学院入試情報」▶



Access



Campus Map (甲府西キャンパス)

